

<p>マクロ経済 産業動向</p>	<p>(1) <b>【3日 Daily Star 紙】</b> 米国の Global Financial Integrity は「Illicit Financial Flows to and from Developing Countries: 2005-2014」と題した報告書を発表。この中で、バングラデシュは 2014 年に 60 億～90 億ドルの不正海外送金があったことを明らかにした。これは貿易総額 (700.7 億ドル) の 9～13%に当たる。</p> <p>(2) <b>【3日 Financial Express 紙】</b> Standard Chartered 銀行の南アジア局長は、最近のタカ安ドル高の為替相場に関し、「一時的な現象であり今後 2～3 週間で潮目が変わるのではないか。毎年ラマダン時期は海外送金が増加し、タカ高になる傾向がある」と述べた。</p> <p>(3) <b>【4日 Daily Star 紙】</b> 2017 年 4 月の海外送金流入額は、前月比 1.9%増の 10.9 億ドルに達した。今年度は海外送金額が低迷していたが、徐々に反転した格好。しかし前年同月比でみると依然として 8.4%ほど減少している。</p> <p>(4) <b>【14日 Daily Star 紙】</b> 洪水被害による Boro 米 (乾季米) の大幅な収量減少に伴い、5 年ぶりに米の輸入が実施される。ハオール地区での洪水により 100 万トンの米が被害を受けたことから、現在 5 万トンの米の輸入手続きが行われている。また食糧省によれば、今年中に最大 60 万トンの米の輸入が行われる見通し。</p> <p>(5) <b>【15日 Daily Star 紙】</b> バングラデシュ政府は、今年度の経済成長率は 7.24%に達するとの見通しを発表した。一方、世界銀行は今年度の経済成長率について 6.8%と予測していた他、ADB も 6.9%との見方を示していた。Kamal 計画大臣は「世銀やその他の援助機関は経済成長率を保守的に見積もる傾向がある。我々は従来通りの計算方法で予測値を算出したに過ぎない」と述べた。</p> <p>(6) <b>【17日 Daily Star 紙】</b> バングラデシュ政府は、2022 年までに農村地域における 1,000 万人の女性に対し、情報通信技術や e-commerce に関するトレーニングを実施する。このプロジェクトでは農村女性の情報通信技術へのアクセスを拡大することを意図しており、490 のウポジラに情報センターを設立する予定。</p> <p>(7) <b>【17日 Daily Star 紙】</b> 銀行で働く職員のおよそ半数がサイバー・セキュリティーについて十分な知識を持ち合わせていないことが明らかになった。バングラデシュ銀行マネージメント協会 (Bangladesh Institute of Bank</p>
-----------------------	---

	<p>Management : BIBM) が実施した調査によると、銀行職員の内 28%がサイバー・セキュリティーについて“全く知らない (Very Ignorant)”と回答した他、22%は“知らない (Ignorant)”と答えた。</p> <p>(8) 【19日 Daily Star 紙】 スーパーマーケットにおける e-commerce の利用が広がっている。17店舗を展開する Meena Bazar は、4月18日に通販サイトを立ち上げた。同社の関係者は、一日当たり 20~25 の注文があることも明らかにしつつ、「既に大きな反響を頂いている」と述べた。</p> <p>(9) 【21日 Daily Star 紙】 5月11日、中央銀行はクレジットカード金利を、消費者融資より 5%高い金利を上限とするガイドラインを発表。現在、消費者融資の金利は 11~12%なので、クレジットカードの上限は 16~17%となる。一方、現行、クレジットカード金利は 36%なので、この措置により金利水準は半減することになる。</p> <p>(10) 【21日 Financial Express 紙】 情報通信の専門家は、サイバー・セキュリティーには、技術への投資のみではなく、人へのトレーニングや教育も必要だと強調した。「Cyber risks: An emerging concern in the supply chain logistics and transport industry」と題したセミナーで、専門家は「データ不作為の 48%は内部者によって行われている」と強調した。</p>
<p>財政 税制</p>	<p>(1) 【10日 Daily Star 紙】 今年度上半期(2016年7月~12月)の予算執行額は、前年度比 24.64%増の 9,550 億タカに達した。開発予算の執行率は前年度比 27.67%増加した他、非開発予算も同 23.74%増加した。</p> <p>(2) 【11日 Daily Star 紙】 来年度予算では社会保障に関する予算が増額される見通しが強まった。高齢者手当の受給者数は、現行の 315 万人から 350 万人に増加する他、1 か月当たりの手当額も現行の 500 タカから 600 タカに引き上げられる。</p> <p>(3) 【23日 Daily Star 紙】 今年度当初 10 か月間 (2016年7月~2017年4月) の開発予算の執行額は 6,508 億タカで、依然として全体の 54%に留まっている。これは多額の配賦を受けている橋梁局で、執行率が 37%と低迷していることが主な要因。</p>
<p>金融・物価・ 為替</p>	<p>(1) 【3日 Daily Star 紙】 2017年3月の民間セクター向け融資残高の伸び率は、前月 (15.88%)より伸長し 16.06%に達した。また同月の銀行セクター全体の融資残高も、前月比 1.5%増の 7兆 3,864 億タカに達した。この背景について民間商業銀行の幹部は「政府の大型インフラ事業が、輸入増加を通</p>

	<p>じて融資残高の伸びに繋がった為」と述べた。</p> <p>(2) <b>【9日 Daily Star 紙】</b> この10日間で多くの野菜価格は、1kg 当たり 5～15 タカほど上昇している。トマトは1kg 当たり 36 タカから 51 タカに、なすは44 タカから 51 タカと高騰。この原因につき市場関係者は、シレット地域における洪水による供給量の減少を指摘。</p> <p>(3) <b>【10日 Daily Star 紙】</b> UN Capital Development Fund(UNCDF)主催による「Role of digital services in promoting inclusive growth: challenges and opportunities」と題したセミナーが開催され、この中で、2,500 万人が mobile financial service にアクセスできておらず、潜在的需要は大きい一方、効果的な拡張に向け政府の体制を確立する必要性が強調された。</p> <p>(4) <b>【17日 Daily Star 紙】</b> 2017年3月の物価上昇率は5.39%となり、前月(5.31%)より微増した。但し、食品部門の物価上昇率は6.89%に達し、前年同月(3.89%)より倍増した格好。Kamal 計画大臣は、食品部門の物価上昇は洪水被害による一時的現象との見方を示した。</p> <p>(5) <b>【17日 Daily Star 紙】</b> 2017年3月末時点の不良債権残高は7,340億タカであり、融資残高の10.53%に達した。不良債権残高は2016年12月末より3か月間で1,123億タカ増加した形。</p> <p>(6) <b>【18日 Daily Star 紙】</b> 16日、Kamal 計画大臣は現在、月毎に公表している物価上昇率の発表を、四半期毎に改めると発表した。この政府の決定に対し反対の声が巻き起こっている。民間シンクタンクは「世界各国で統計の発表頻度を高める努力がなされている中、それに逆行する動きである。」と述べた。</p> <p>(7) <b>【29日 Daily Star 紙】</b> 例年と同じくラマダン初日に、主要食品の価格は上昇した。食品販売業者は政府が示した価格リストに従っていない。例えばヒヨコマメは、南ダッカ市が1kg 当たり 82～84 タカと指定しているにもかかわらず、市場では89～92 タカで販売されている。</p>
投資	<p>(1) <b>【10日 Daily Star 紙】</b> 中国の Kunming Steel 社は、バングラデシュの BSRM 社と合弁会社を設置し、22 億ドルの投資を検討していることが明らかになった。同社は、鉄鋼需要が急増する国内市場向けに Chittagong に新工場を建設する予定。</p> <p>(2) <b>【21日 Daily Star 紙】</b> 民間投資は引き続き低迷している。2016/17 年度の民間投資額の対</p>

	<p>GDP 比率は 23.01%で、前年度の 22.09%から僅かな上昇に留まった。更に、同比率は近年、低迷している。Zahid Hussain 世界銀行チーフエコノミストは「この背景には様々な要因が考えられるが、バングラデシュではビジネスに関するコストが高いことが主な原因と考えられる」と述べた。</p>
貿易	<p>(1) 【9日 Daily Star 紙】 今年度当初 10 か月間 (2016 年 7 月～2017 年 4 月) の輸出総額は、前年同期比 3.92%増の 287 億ドルに達した。また 2017 年 4 月 (単月) の輸出額も、前年同月比 3.49%増の 27.8 億ドルとなった。これはニットウェアや皮革製品などの輸出量が伸びたことが要因。</p> <p>(2) 【24日 Daily Star 紙】 現地縫製企業によるスポーツウェア向け投資が活発化している。スポーツウェアの世界市場は 2 億 7,000 万ドルだが、中国やベトナムが大勢を占めている。縫製大手の Envoy Group はガジプールに 50 億タカを掛けた新工場を建設予定である他、Viyellatex Group も機能性スポーツウェアの新工場を建設する計画。</p>
雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障	<p>(1) 【1日 Daily Star 紙】 30 歳の Belal Uddin は、工事現場で電気ケーブルに接触し、肩から腕にかけて重度の火傷を負った。この結果、治療費に 35 万タカが掛かったにもかかわらず、会社による保証金は 4 万タカのみで、残りの治療費は借金をして賄わざるを得なかった。バングラデシュでは 87%の労働者は適切な労働環境下で働いておらず、2016 年には 1,240 件の死亡事故が発生している。</p> <p>(2) 【16日 Daily Star 紙】 EU はバングラデシュ政府に対し貿易上の特権を享受し続けたければ、労働者の人権を改善するよう再度要求した。メトロポリタン商工会議所 (Metropolitan Chamber of Commerce and Industry : MCCI) 主催の会議で Mayaudon EU 大使は「EU との経済関係の強化に向けバングラデシュは社会的コンプライアンス (Social Compliance)、良い統治 (Good Governance) 及び技術革新を進めなければならない」と述べた。</p> <p>(3) 【29日 Daily Star 紙】 学歴が高い人ほど、失業のリスクに晒されている。バングラデシュ政府統計局 (Bangladesh Bureau of Statistics) のデータによれば、高等教育を受けた人の失業率は、2013 年の 6.7%から 2015 年には 9%に上昇している。統計局幹部は「この背景の一つは、高等教育を卒業した若者の多くは、その学歴に見合う待遇の仕事が表れるまで待っているのではないかと述べた。</p>
	<p>(1) 【4日 Daily Star 紙】</p>

<p>社会</p>	<p>Rokeya Begum の一家はボグラに住んでいたが、洪水により作物が被害を受けたことを契機に、ダッカのスラム街に移り住んだ。しかし子供が結核に掛かったことから、その治療費の為に同じスラムの住人から 100～120%の利子でお金を借りた。彼は「これが我々の運命だ。返済の為に別のところからお金を借りなくてはならない。」と述べた。スラム居住者は過去 17 年間で 223 万人増加し、その半数はダッカに住んでいる。しかし、彼らは社会的セーフティーネットとは無縁の暮らしを強いられている。</p> <p>(2) 【11日 Daily Star 紙】 野党 BNP は、2019 年 1 月に予定されている総選挙に向け「Vision 2030」を発表。同 Vision は 256 項目から構成されており、2030 年までに毎年 2 桁成長率を達成することや、1 人当たり GDP を 5,000 ドルとすること等が盛り込まれた他、首相への権力の集中を避ける趣旨から議会の二院制化も謳われた。</p> <p>(3) 【13日 Daily Star 紙】 バングラデシュ警察はラッシュヤヒにある過激派アジトを急襲。36 時間に及ぶ攻防の末、過激派メンバー 4 名が死亡した他、警察官 4 名も負傷を負った。</p> <p>(4) 【20日 Daily Star 紙】 およそ 60%の子供が専門的な介助がない中で生まれている。これは WHO が発表した「World Health Statistics 2017」の中で明らかにされた。バングラデシュ政府関係者は「医療・保健分野の問題は社会開発と密接に関連しており、同報告書の記載は全くその通りだ。しかし政府も懸命に取り組んでおり、数年以内に状況が好転することを望んでいる」と述べた。</p> <p>(5) 【31日 Daily Star 紙】 サイクロン (Mora) がコックスバザール付近に上陸。これにより 7 名が死亡した他、数千棟の家屋が被害を受けた。一方、広範な準備や想定よりもサイクロンの威力が弱かったこともあり、サイクロンの影響はそれほど大きくはならなかった。</p>
-----------	--

(丁)